



AIで広がる医療の可能性

生成AIの医療応用への展望と実臨床におけるAI活用の最前線

企画協力：藤田広志（岐阜大学特任教授）

I 医療AIをめぐる動向

1. 令和6年度診療報酬改定におけるプログラム医療機器
に対する評価…………… 橋本尚英 02
2. AI搭載内視鏡画像診断支援プログラム (EndoBRAINシリーズ)
の開発から保険収載までの道程…………… 三澤将史ほか 06
3. 「AIを活用したプログラム医療機器に関する報告書」
の概要と今後の医療AIの展望…………… 中岡竜介ほか 10
4. 次世代医療基盤法改正による医療AIの研究開発の動向…………… 吉田真弓 13
5. AIサービス普及のための情報セキュリティのあり方…………… 宇賀神 敦 17
6. 医療AIの研究開発のためのデータプラットフォーム構築に向けて…………… 島原佑基 21
7. 日本医学放射線学会画像診断管理認証施設における
放射線画像診断補助ソフトウェアの安全・運用管理の実際…………… 渡邊嘉之 24
8. まだ間に合う！ 初学者のための医療AI入門…………… 伊藤倫太郎 27
9. 全国医療AIコンテストの概要と人材育成の可能性…………… 佐藤淳哉 30

II 生成AIの医療応用への展望

1. 医療における生成AIの現状と今後の展望…………… 藤田広志 33
2. アマゾン ウェブ サービスにおける生成AIの取り組みと
医療分野での展開…………… 遠山仁啓 38
3. エヌビディアにおける生成AIの取り組みと医療分野での展開…………… 山田泰永 41
4. マイクロソフトにおける生成AIの取り組みと医療分野での展開…………… 石川智之 44
5. NECにおける電子カルテへの生成AI実装と今後の展望…………… 栢 真由 48
6. 生成AIサービス「GaiXer」を活用し
医療事務作業の労働負荷とコストを削減…………… 小笠原尚久 51
7. 医療現場での生成AI活用に向けて、
取り組みと今後の期待…………… 藤岡裕一郎ほか 54
8. 医師国家試験合格水準を持つ生成AIの開発と今後…………… 岡部篤史 57

III 放射線診療におけるAI活用の最前線

1. 大宮シティクリニックにおける
「EIRL Chest Screening」の初期使用経験…………… 君塚孝雄 60
2. 人生100年時代脳ドックにおけるAIソフトウェア利用の試み…………… 石原真木子 63
3. AI技術を用いたMR画像再構成の使用経験
— 当院のキヤノンメディカルシステムズ社製MRIについて…………… 桐生 茂 66
4. シーメンス社製MRI搭載「Deep Resolve」の臨床的有用性…………… 立川裕之 69
5. 「syngo.via」を用いた院内のワークフロー
およびAIを用いた認知症画像診断支援…………… 橋谷直樹/福山晃朗 72
6. 当院における胸部CT-AI「Plus.Lung.Nodule」の使用経験…………… 市川泰崇 75
7. スポーツ整形外科におけるAIの役割
— 最新MRIを使用して…………… 松尾信之 78

膝関節のX線撮影法が変わる

安藤英次…………… 90

XR技術の看護教育への活用

XR技術とともに進化するZ世代の学生と
解剖生理学教育

本間典子…………… 94

イノベーションで医療課題の解決に挑む フィリップスのグローバル戦略

AI導入に積極的な課題先進国・日本市場の
重要性…………… 82PhyZio/dynamics 2.0 がもたらす
4Dイメージングの進化

1. 動態解析のパラダイムシフト PhyZiodynamicsのさらなる進化

下宮大和…………… 84

2. 僕たちの Muse, Ziostation REVORAS!

長尾充展…………… 85

IDENTIFY Systemの使用経験と 今後

中村和正ほか…………… 88

・第5回 Rise Up CT Conference が
現地とオンデマンドのハイブリッドで開催…………… 99・シーメンスヘルスケアと柏葉会が
パートナーシップを締結し、新病院に
シームレスな手術室・救急救命室
「SMART OR/SMART ER」を構築…………… 100・バルコ、各事業部門の新製品などを紹介する
「One Barco Open House 2024」を開催…………… 100・JIRA 新会長に瀧口登志夫氏が就任
— 2024年度定時社員総会開催…………… 102

・第27回 CTサミット…………… 81

● 市・場・発…………… 101

● モダリティEXPO最新展示情報…………… 103

● 次号予告…………… 104